

タフ・アメリカ (マネープールファンド)

追加型投信／国内／債券

第9期 2018年2月22日決算

作成対象期間 (2017年8月23日～2018年2月22日)

第9期末 (2018年2月22日)	
基準価額	9,985円
純資産総額	8百万円
第9期	
騰落率	△0.1%
分配金	0円

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「タフ・アメリカ (マネープールファンド)」は、このたび、第9期の決算を行いました。

当ファンドは、マネー・マネジメント・マザーファンドへの投資を通じて、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等に実質的に投資を行い、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆運用報告書 (全体版) は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名で検索」にファンド名を入力*⇒該当のファンドを選択⇒「運用実績・レポート」を選択⇒「運用報告書 (全体版)」を選択

※償還の場合は、「償還ファンド一覧」を選択

ホームページアドレス
<http://www.daiwasbi.co.jp/>



お問い合わせ先

受付窓口：(電話番号) 0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで(土、日、祝日除く。)

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

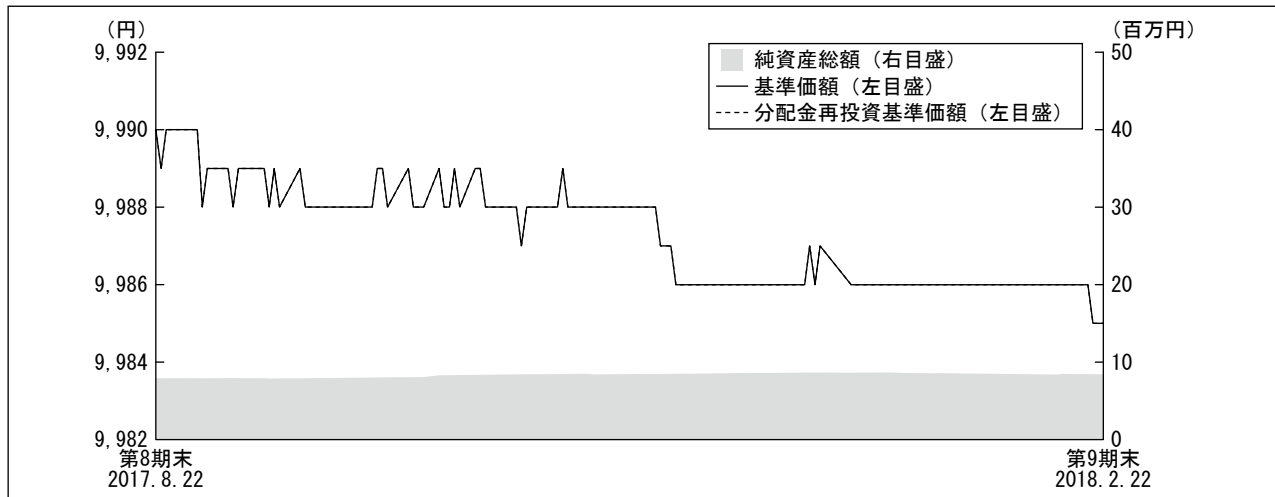


大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第9期首： 9,990円

第9期末： 9,985円（既払分配金 0円）

騰落率： $\Delta 0.1\%$ （分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、マネー・マネジメント・マザーファンドへの投資を通じて、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等に実質的に投資を行いました。

（下落要因）

マイナス金利政策導入を背景として無担保コールレートがマイナス化したことが下落要因となりました。

【1万口当りの費用明細】

項目	当 期		項目の概要
	2017年8月23日～2018年2月22日		
	金額	比率	
信託報酬	－円	－%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,987円です。
（投信会社）	（－）	（－）	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	（－）	（－）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（－）	（－）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（0）	（0.002）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	0	0.002	

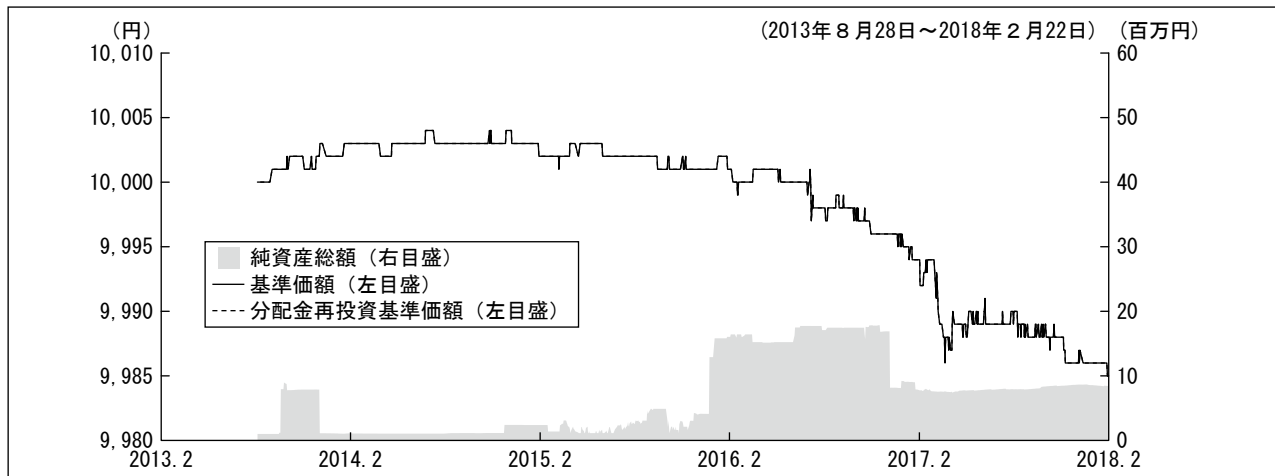
* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 円未満は四捨五入しています。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日（2013年8月28日）より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2013年8月28日 設定日	2014年2月24日 決算日	2015年2月23日 決算日	2016年2月22日 決算日	2017年2月22日 決算日	2018年2月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,003	10,002	10,001	9,994	9,985
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.0	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.1
純資産総額 (百万円)	1	1	2	16	7	8

【投資環境】

国内短期金融市場では、期初-0.15%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、米債務上限問題等を背景に-0.2%近辺まで低下する局面もあったものの、米債務上限問題の懸念後退を受けて-0.1%台前半までマイナス幅を縮小しました。2017年9月下旬から11月下旬にかけては、海外投資家による短期国債への需要の高まりを受けて-0.25%近辺まで低下しましたが、その後はマイナス幅を縮小し-0.20%近辺で期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

■タフ・アメリカ（マネープールファンド）

主要投資対象であるマネー・マネジメント・マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は79.0%としました。

■マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせて頂きました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第9期	
	2017年8月23日 ～2018年2月22日	
当期分配金 (円)	0	
(対基準価額比率) (%)	0.00	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	196	

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■タフ・アメリカ（マネープールファンド）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等に実質的に投資を行い、利息等収入の確保を図ります。

■マネー・マネジメント・マザーファンド

日本銀行の「長短金利操作付き量的・質的緩和」への政策枠組み変更後も、残存1年未満の国債・政府保証債の市場利回りはマイナス圏で推移しています。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

お知らせ

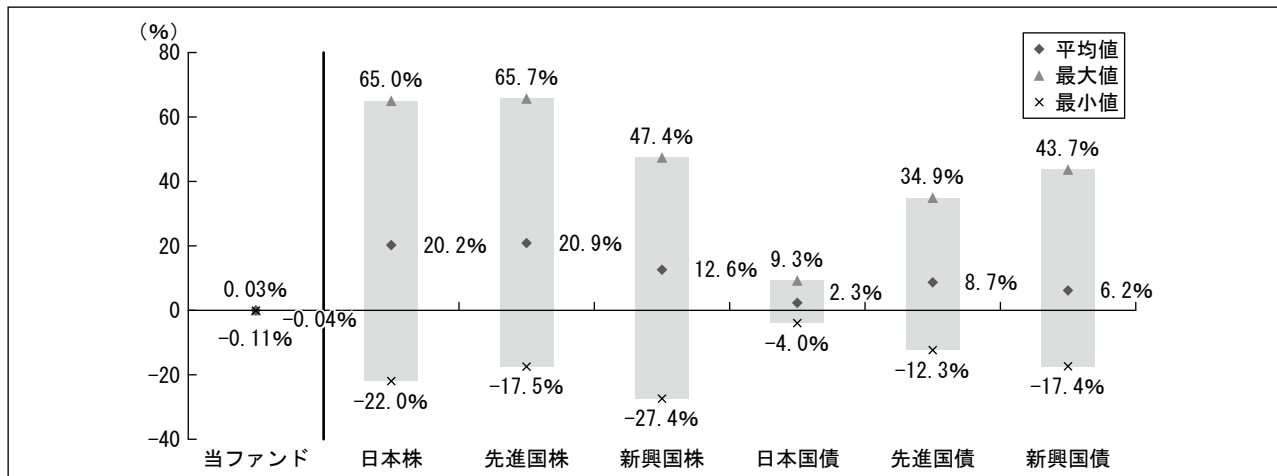
該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2013年8月28日～2023年8月22日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等に実質的に投資を行い、利息等収入の確保を図ります。	
主要投資対象	当ファンド	マネー・マネジメント・マザーファンド受益証券
	マネー・マネジメント・マザーファンド	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運用はファミリーファンド方式で行います。 ・マネー・マネジメント・マザーファンドへの投資を通じて、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。 ・株式への実質投資は行いません。 ・外貨建資産への実質投資は行いません。 	
分配方針	<p>毎年2月、8月の22日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2014年8月～2018年1月
 代表的な資産クラス：2013年2月～2018年1月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

（注）上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

《当該投資信託の組入資産の内容》

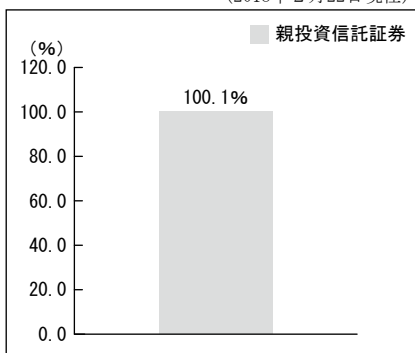
【組入ファンド】

	第9期末（2018年2月22日）
	組入比率
マネー・マネジメント・マザーファンド	100.1%

*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

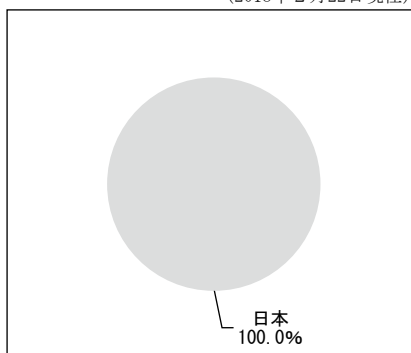
(2018年2月22日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

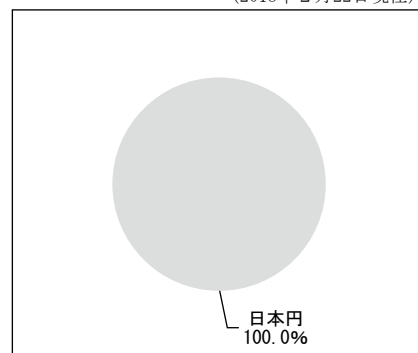
(2018年2月22日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2018年2月22日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【純資産等】

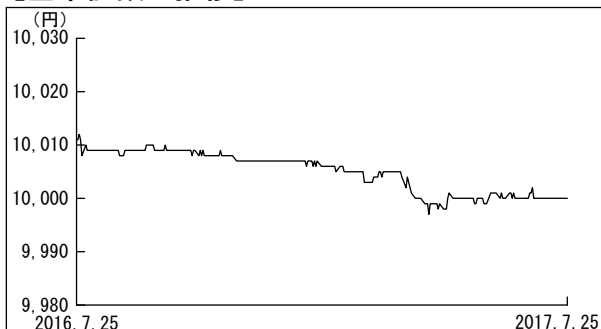
項目	当期末
	2018年2月22日
純資産総額	8,424,056円
受益権総口数	8,436,419口
1万口当り基準価額	9,985円

*当期中における追加設定元本額は1,098,492円、同解約元本額は596,774円です。

《組入ファンドの概要》

■マネー・マネジメント・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当りの費用明細】

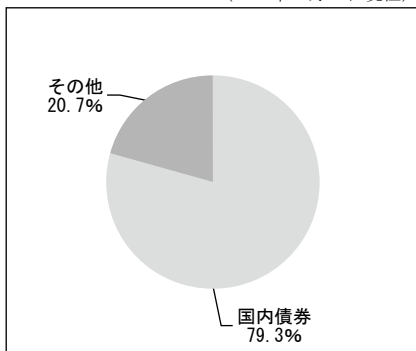
(2016年7月26日～2017年7月25日)

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

*費用項目については、2ページの項目の概要をご参照ください。
 *期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 *円未満は四捨五入しています。

【資産別配分】

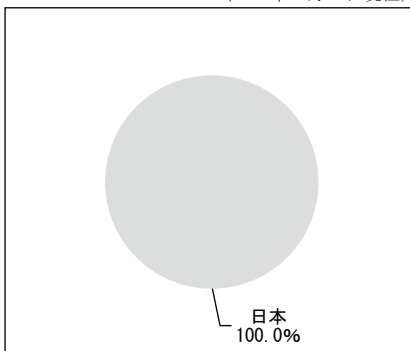
(2017年7月25日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

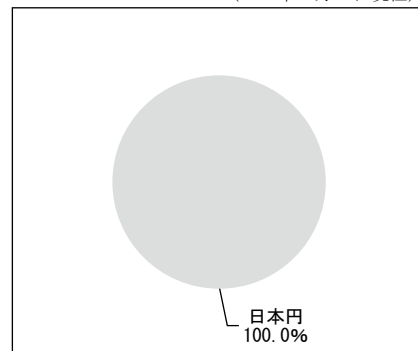
(2017年7月25日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2017年7月25日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

(2017年7月25日現在)

	銘柄名	比率
1	21 政保政策投資B	26.6%
2	879 政保公営企業	20.3%
3	37 政保道路機構	20.3%
4	49 政保道路機構	12.2%

(組入銘柄数 4銘柄)

*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 全銘柄に関する詳細な情報および直近の計算期間の運用経過等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments